

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

# アンコールワット

発行日:2021年(令和3年)8月1日 会報 第118号

特定非営利活動法人(NPO法人)

## 21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203  
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213  
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】#9E2,street432,Sangkat Boeng Tumpum,  
Khan Meanchey,Phnom Penh  
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#) 検索

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#) 検索



この20年間、判で押ししたように隔月カンボジアを訪問しました。ところがコロナが流行してからバツリ途絶え、自粛モードも相まって自宅にすることが多くなりました。とはいえず支援・交流活動を止めるわけにもいかず、今はやりのZOOMを使いオンラインで活動を続けています。それでも対面に勝るものではなく、早くコロナが終息して普通にカンボジアに行けるよう、願ってやみません。

カンボジアはコロナ感染拡大に伴いこの1年半の間、断続的に休校が続いています。都市部ではオンライン授業をしていますが、本会が支援する田舎の学校はオンラインができないため、週に1回登校して宿

題をもらい、自宅学習しています。無言の抵抗でしょうか、こうした現状に背をむけ、退学する生徒が増えてきました。また、学力低下も心配です。若い世代はほとんど罹らない病なので、早く普通に通学できるよう、フンセン首相にお願いしたいです。

日本はネット環境に恵まれ、対面授業とオンライン授業を並行して授業は続いています。気がかりは小中高生者の自殺の増加です。昨年度全国の自殺者数は2万919人で、前年より750人増えました。小中高生者の自殺は前年比46.2%増の479人でした。若い女性の自殺者も前年比で14.5%増えました。

コロナの影響で自粛生活を強いられる結果うつ病になったり、失業や倒産で命を絶つ決断を余儀なくされた人たちが増えたのが原因であることは明白です。若者はコロナではほぼ亡くなりませんが、自粛の過剰対策が裏目に出て命を絶っているのが分かります。

幸いにもワクチン接種が進み、この会報が皆さんのお手元に届く頃、65歳以上高齢者の大半が接種を終わっていることでしょうか。となれば重症化率も下がって医療ひっ迫が解消されるとともに、やがて自粛生活も終わりを告げることになりそうです。

感染対策を講じた上で日常が戻れば、若者も自由に生きることができ、人生を謳歌することができましょう。若い時の1年は、高齢になつてからの5年・10年に匹敵するほど中身が濃いものです。

### コロナ自粛で失われた日々を取り戻してほしい

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

### 「桐生赤城ロータリークラブ」が井戸とトイレを寄贈

「桐生赤城ロータリークラブ」(群馬県桐生市)の資金協力により、この程カンボジアの小学校に井戸とトイレ棟が完成した。完成したのは、ペレイ小学校(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=117人)。6月30日、現地スタッフが訪問し、井戸とトイレの完成を確認した。カンボジアの小学校は、コロナの影響を受けて3月から休校しているため、生徒が集まることができず通常の贈呈式は出来なかったが、学校周辺に住む生徒たちが集まり、少人数で完成を祝った。この地域は人里離れた辺境にあり、井戸もトイレもなく生徒たちは不便な学校生活をしてきたが、この程の完成で生徒たちの学習意欲も高まることだろう。



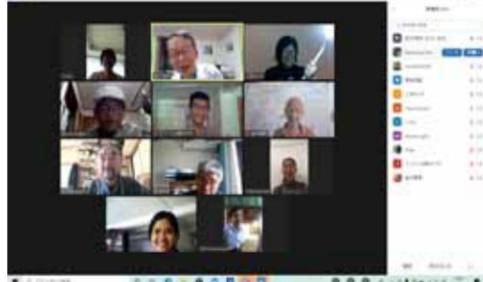
↑きれいな水ができました



↑立派なトイレができました

### オンライン交流会を定期開催

カンボジアへの訪問が難しくなった昨今だが、コロナ禍で急に広まったZOOMを駆使し、現地カンボジアの皆さんと日本にいる会員さんらが6月5日にオンラインで交流、14人が参加した。画面越しではあるが久しぶり元気な姿を拝見し、皆喜んでた。続いて7月3日にも2回目を開催、13人が参加した。本会では毎月第1土曜日の朝10時~11時半にオンライン交流会を定例化、興味ある会員さんの参加をお願いしている。参加希望の方は本会事務局に連絡を。(☎03-3991-2854)



### オンラインで交流しませんか?

この度、事務局にZOOMをセットしました。現地にいる里子や学校で学ぶ子どもたちとオンラインで交流することができます。また、会員相互のオンライン交流も可能になりました。パソコンやスマホをお持ちの方には、この機会に事務局(ホスト)とつながりませんか? 詳細は事務局にお問い合わせください。

### カンボジア・フェスティバル 再々延期のお知らせ

毎年東京「代々木公園」で開催していた「カンボジア・フェスティバル」ですが、今年は場所が変わり9月25日~26日、東京「芝公園」での開催を予定しておりました。しかしながら先般実行委員会から、コロナ感染終息のメドが立たないため、来年5月3日~4日に再々延期するとの連絡を頂きました。皆様にお会いできることを楽しみにしておりましたが、残念な結果になりました。なお、来年5月に開催する場所は「代々木公園」になるそうです。

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さんありがとう

### クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校にすら行けない子どもや、学校に行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校に行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば76年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。
  - ・内訳
  - 子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
  - 年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
  - ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
  - ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
  - ・所定の郵便振替用紙をいとお振込みください。
- 【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合がありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。
- 【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
- ・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。
- ・子どもから写真とお礼の手紙が届きます

### 教育支援をお願いします!

「グメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援してください。まずは、子どもの名前を添えて事務局まで一報ください。  
 (先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください)  
 また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツィ・マンの教育支援です。

TEL 03・3991・2854  
 FAX 03・3557・1213

### 現地スタッフからのカンボジアレポート

スレイニッチ



カンボジアでは、中国で作られた新型コロナのワクチンを使っています。中国から寄付されたものです。カンボジアでは、ワクチン接種を希望する人が1000万人いますが、現在36.19%が打ち終わりました。プノンペンなどの都会で多く接種されていますが、地方の農村部はまだ先になりそうです。

**タン・センホ君**  
(男の子)



アムブレピン小学校  
6年生(11歳)

- 家族構成=父親死亡し母親のみ。兄弟なし。現在母親と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で20分。

**シアン・カニカーちゃん**  
(女の子)



アムブレピン小学校  
6年生(11歳)

- 家族構成=父親死亡し母親のみ。妹がいる。現在祖母、妹と暮らす。(母親は再婚し家にいない)
- 好きなこと=縄跳びをすること。
- 学校まで徒歩で15分。

**ティート・ジャウエイちゃん**  
(女の子)



リヤマイサマキ小学校  
3年生(12歳)

- 家族構成=父親死亡し母親のみ。姉1人、弟3人。現在母親、姉弟、祖母と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で30分。

**クイ・チャンダーちゃん**  
(女の子)



リヤマイサマキ小学校  
3年生(12歳)

- 家族構成=父親死亡し母親のみ。姉が3人いる。現在母親と暮らす。
- 好きなこと=絵を描くこと。
- 学校まで徒歩で20分。

**ロー・チャントリアちゃん**  
(女の子)



アムブレピン小学校  
3年生(9歳)

- 家族構成=父親死亡し母親のみ。妹がいる。現在母親、妹、祖母と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で20分。

### 投稿 象のコロナ暇

青木貴之(プノンペン在住、会社員)

写真は、5月に私がシエムリアップの田舎を旅している時に遭遇した象です。1頭、2頭、2頭、2頭と、グループに分かれて歩いています。これは珍しいと思



い、道の脇でカメラを構えていましたが、すれ違う時はあまりの大きさに、ライオンよりも強い猛獣という事を思い出しました。地蔵の如くまばたきせず、息を止めるしかありませんでした。

象の後を歩く人に話を聞いてみると、普段はアンコールワットの近くのバコン山で観光客の相手をしているそうですが、今は観光客がいなため、田舎の方で飼っているそうです。今日は、森の中で草を食べて家に帰る途中でした。

象の後ろをついてインタビューしていると、象から強烈な臭いを感じました。思わず「臭い」とカンボジア語で言ってしまいましたが、それが象に聞こえたようで2頭とも振り返りました。象に悪口を言っているのがバレたと思いました。

身の毛がよだつ思いをしました。象は私に一瞥し、また前を向いて歩いていきました。象からすれば、私など虫けら同然なのかもしれせん。

### カンボジアの小学校に3つの井戸が完成

この程カンボジアの小学校と村に、手押しポンプ式井戸が3つ完成した。

カンボジアの小学校はコロナの影響で断続的に休校しており、長い間井戸建設ができなかったが、学校の協力によりようやく井戸建設が進み、この程3か所の井戸が完成した。6月30日に現地スタッフが小学校を訪問、井戸の完成を確認した。

完成したのは、澤木和子様寄贈の「バンハイホース小学校」(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=92人)、上甲亀安・純子様寄贈の「ドオン小学校」(トゥボンクモム県メーモット郡、生徒数=246人)、松原睦美様寄贈の「ドオン村」(トゥボンクモム県メーモット郡、村民数=1,149人)の3か所。

学校が休校中のため、近所に住む生徒たちが集い、少人数で井戸の完成を祝った。

井戸の深さは平均して約40メートル、ヒ素などの水質検査を実施しているため、生徒や村民には安心・安全な井戸水を提供することができる。



澤木和子様寄贈の井戸



上甲亀安・純子様寄贈の井戸



松原睦美様寄贈の井戸

### ウオッチカンボジア

#### 進むワクチン接種

コロナウイルスが感染拡大する中、ワクチン接種も進んでいる。6月23日現在で1回目終了者が576万人、2回目終了者が313万人となっている。11月に1000万人の接種完了をめざし、集団免疫獲得が期待される。人口比では日本の先を行っている。

#### ワクチン証明書発行

日本はまだ検討段階だが、カンボジアはワクチン2回終了者に対し証明書を発行している。ワクチンパスポートともいえる。国内移動の際に提示を求められることもあるという。



ワクチン証明書

#### 日本、カンボジアへ救急車30台を寄贈

日本は、経済社会開発計画(医療機材支援)として、カンボジアに救急車30台を寄贈した。これまでに日本は、カンボジア政府からの要請で救急車70台、X線装置10台、超音波診断装置26台、集中治療室(ICU)ベッド100台などを提供している。



救急車寄贈

### プノンペン-シアヌークビル高速道路50%完成



カンボジア初の高速道路

プノンペンの環状3号線からシアヌークビルに通じる、片側2車線総延長190キロの高速道路が、50%以上が完了した。現在の国道4号線は片側1車線で渋滞がひどく、5、6時間かかることもある。新たに高速道路が開通すれば、所要時間は2時間、2時間半になる。2023年に完成する見通し。



ヒーローネズミ

カンボジアの地雷探知で活躍した、アフリカオニネズミの「マガワ」が引退することになった。活動から5年を迎え、動きが鈍くなってきたためだという。「マガワ」はこの5年間、地雷387発を発見し、東京ドーム約5個分の敷地を人々が住めるようにした。感謝!



カンボジア最大の滝

モンドルキリ県にあるカンボジア最大の滝。プノンペンからは車で6時間かかるといわれるが、一度は行ってみたい。滝の迫力ある。

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にある、カンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在310人の子どもたちを教育支援している。

カンボジアでは、新型コロナウイルスの感染爆発により、感染者累計は6万人を超え死亡者も千人を超えた。3月以降、全国すべての学校が休校となり、一部の学校ではオンライン授業を行い、オンライン授業ができない地方の学校では生徒が週1回登校し、先生から宿題の指導を受けている。

教育里親の皆さんが里子に会って交流するための「カンボジア訪問旅行」については、昨年3月を最後に中止が続いている。当分訪問が難しいため、ZOOMを使いオンラインでの里子交流を始めた。

オンライン里子訪問が実現



6月5日に杉田様が、6月18日に村西様が現地にいる里子と会話し交流した。現地では本会スタッフがパソコンを持参し、里子の家から発信する。里子とのオンライン交流を希望される方は、事務局にお問い合わせください。(☎03-3991-2854)

里子への教育支援金を隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12,600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。

6月上旬に4月と5月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。カンボジアの学校は、新型コロナウイルスの感染拡大により休校中。次の支援金を届ける頃には開校することを願っている。



支援金を届けました

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

●新型コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。

●事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

- ・自転車(中古品) 7,500円
- ・お米(50キロ入り) 4,500円
- ・通学用かばん 3,000円
- ・Tシャツ2枚&サンダルセット 2,000円
- ・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊) 1,000円
- ・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,000円
- ・文房具セット(ノート、筆記用具等) 1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。

※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

投稿 貧しいけど勉強頑張る!

バンチャ(プノンペン在住、旅行会社経営)



カンボジアの地方、モンドルキリ州から帰る途中、小学生たちに会いました。学校は休校していますが、時々登校して宿題を見てもらっています。

貧しいながら、勉強を頑張っている生徒たちに驚きました。学校はどこ?と聞いたら、

「あっちの方」と指さしました。家から学校まで30分かかるそうです。

将来の自分のため頑張って勉強してね!という、張り切って「ハイ!」と返事してくれました。素晴らしい生徒たちです。



子どもたちの笑顔

コロナで沈みがちの日々ですが、カンボジアの子どもたちの笑顔を見て癒されてください。ワクチン接種も進み、長いトンネルの出口が見えてきました。あと少しの我慢です。



写真提供:遠藤啓様

投稿 できる範囲で微力ながら...

園田美代子(群馬県、里親会員)

創立20周年おめでとうございます。

私は縁あって貴会に入会してまもなく2003年に、初めてカンボジアへ里子訪問しました。まだ私はその頃のカンボジアの知識が少なく、未知の世界でした。

友達から「なんで?どうして?カンボジアへ?」「大丈夫?地雷踏まないで!」と不安な饒別言葉でした。

空港に降り立った時、鳥の大群の鳴き声が「ウエルカム、ウエルカム」と聞こえました。その時からカンボジアに魅せられ、カンボジアにハマって今に至ります。

里子たちも色々な事情で何人も変わりました。今は結婚し、良いお父さん、お母さんになっているかな? 会ってみたい気持ちでいっぱいです。

20年たっても子どもたちの支援が必要な国カンボジアです。できる範囲で微力ながら支援させていただきます。

コロナ禍の生活で腰痛のため筋力つけ、体力作りをしてカンボジアへ行けるように、頑張っています。早くコロナ収束!終息しますように!!



投稿 手を差し伸べられる人物になってくれたら.....

埼玉県里親会員(匿名希望)

今から20年近く前の事になりますが、私は友人と観光でカンボジアを訪れました。就学時の子供が観光地で外国人相手に物売りをしているのは、発展途上にあるアジア諸国ではありふれた光景で、当然カンボジアにも、観光スポットで土産物を買っている子供達がありました。カンボジアの青年ガイドには「きりがないので相手にしないように。」と言われていました。

ある有名な遺跡に行った時も車から降りて遺跡の門に向かう途中で、小学校低学年位と思われる1人の少女が「絵葉書1\$」と言い寄ってきました。私は少女の方を見ないよう俯き、歩調を速めました。

すると少女は、どこで覚えたのだろう日本語で「お姉さん、目見て」と自分の瞳を指しました。そしてどうやら、絵葉書を買ってもらえないのを悟ったのか、次に「甘いのちょうだい」と言いました。

その少女は、現在20代になっている事でしょう。子供がいるかもしれません。彼女は大人になる過程で、どんな将来を思い描いていたのか、未来を夢見る事があったのでしょうか。

もし彼女が今不本意な状況に陥っているとしたら、それは学校にも行かず、生活費を稼ぐため物売りなんかをしていた彼女の責任でしょうか。

私はその少女と、ガイドの青年や異国の地での外国人としての自分とを分け隔てるものがよく分かりません。富裕層と貧困層、知能や容姿や資産に恵まれ偉業を成し遂げた人と市井の人、日々の生活を送るのが精一杯の人との間に『人』として優劣や上下がつくのか、何故青年ガイドは物売りの子供達に対し見下したような態度をとるのか分かりません。「そういうものだ」と記憶するのは簡単なのですが、理解ができないのです。

カンボジア観光での事はずっと心に引っかかっていましたが、正直里親になったのは偶然やタイミングです。

里子とは深い交流が出来ているとは言い難いのですが、それが彼の望みであればそれで良いと納得しています。

里子に何かを期待するとしたら、自由に何にも縛られる事なく自分の思うよう将来を夢見る事です。

そして、私に対し感謝をするような時がきたらそれは他の生命に対し、何か出来る事がある時に手を差し伸べられる人物になってくれたら良いと思っています。



本会の会員状況をお知らせいたします

(2021年6月末日現在)

●教育里親会員	219名
●個人会員	86名
●団体会員	9団体
●寄付協力者(随時)	56名
合計	370名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

■オンラインでカンボジア語を学びたい方は、本会事務局にご連絡願います。現地カンボジアの「光語学スクール」と連携し、ZOOMを使い現地にいるカンボジア人が教えます。パソコン又はスマホをお持ちの方が対象になります。詳細は本会事務局にお問い合わせください。

■今号も2名の里親会員様に投稿して頂きました。ありがとうございました。次号も予定しておりますので、投稿をお寄せください。よろしくお願いたします。

■9月に予定していた「カンボジア・フェスティバル」は、残念ながら来年5月に再々延期されました。来年こそコロナが終息しますよう願います。

■現地への訪問が叶わない今、現地を知る唯一の情報源が本会会報です。原則隔月に発行し、会員の皆様に本会の活動状況や現地動向をお届けして参ります。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

活動に参加しませんか

正会員として

■教育里親会員(年額3万円)

子どもたちへ直接払う年額

1万2千6百円(42%)

会の運営に回す年額

1万7千4百円(58%)

■個人会員(年額5千円)

■団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

口座名

21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】

019支店 当座 01600916

【りそな銀行】

練馬支店 普通 40980035

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～コロナ感染対策～

カンボジアの武漢コロナ状況ですが、昨年は陽性感染者が極めて少なく死者もゼロでしたが、今年2月に中国人女性脱走事件から市中感染が拡大して、3月には死者が出てしまいました。カンボジアは、1年遅れてコロナ禍が始まったようです。



陽性者と死者はじわじわと増えて、4月にプノンペン等にロックダウンが実施されました。6月20日時点で42,711人を記録、連日平均で陽性者600人と、死者4人の発生が続いています。ロックダウンは6月になり解除されましたが、地域ごとの様々な規制・制限の通達が出されています。

当局は感染対策を要請していますので、街の商店は小さな店舗までが入口に検温器とアルコール洗浄器を置き、入口ドアに紐や張り紙して店内入りの制限をしています。なので買い物しがし難い事、この上ありません。

里親会員 鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)



ペットとしてライオン飼育、プノンペン当局が保護



プノンペン当局は、プノンペン市内の個人宅でペットとして飼育されていた、オスのライオンを保護した。爪と牙が切除された、ライオンの姿が動画投稿アプリ「ティックトック」に投稿されており、当局が捜査した。このライオンは「プノンペンタマウ野生生物保護センター」に移送された。飼育していた中国人男性に対して、罰則が科されるかどうかは不明。

101歳女性がワクチン接種、国内接種者で最高齢

カンボジアで101歳の女性がワクチン接種した。国内でワクチン接種した人の中で最高齢。自宅に近い中学校で、中国製ワクチンを接種した。この女性は1920年生まれで、1980年からフランスに渡り、4年前にカンボジアに戻っていた。

フンセン首相が2度目の2週間隔離措置

フンセン首相は、新型コロナウイルス感染者と間接的に接触したとして、6月19日から7月3日まで隔離措置を受けた。昨年に続いて2度目。隔離期間中のすべての会議などをキャンセルした。隔離中、フンセン首相はZOOMを通して勤務を続けるとした。

セブンイレブン、カンボジア1号店開業

コンビニ大手「セブンイレブン」が、カンボジアでの1号店をプノンペン市内で開業した。年内にはさらに6店舗を開業する予定だという。

国道3号線改修工事、9月に完了へ

プノンペンとカンポットを結ぶ国道3号線の改修工事が98%完了し、9月にも完工する見通しだという。同改修工事は2018年5月に着工、事業費は2億2200万ドル(約228億円)。改修区間は全長134キロメートルに及ぶ。

絶滅の恐れあるシカをカンボジア国内で発見

絶滅の恐れが最も高い「深刻な危機」に分類されている「オオソノホエジカ」が、ラタナキリ州にあるピラチエイ国立公園内で確認され、環境省が写真を公開した。「オオソノホエジカ」は1994年、隣国のベトナムとラオスの森で初めて発見された。



子どもの笑顔に会えるのはいつの日か

教育里親会員 入会申込書

年月日

氏名	ふりがな	生年月日	年	月	日
住所	(TEL)				
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [ ] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男の子 ② 女の子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に ]				

\*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。